

2025年6月2日

郷内発電所の最大出力の増加について

当社は、本日より、郷内^{こうない}発電所（秋田県由利本荘市矢島町、水路式）の最大出力を13,200kWから14,800kWに増加（+1,600kW）しての運用を開始いたしました。

本件については、既設設備を改良せずに、同発電所の使用水量を増やすことで、水車発電機などの性能を最大限活用し、最大出力を増加させるものです。

なお、当社の水力発電所における同様の取り組みは、第二鹿瀬発電所（新潟県東蒲原郡阿賀町、ダム式 2022年2月24日お知らせ済）、上郷発電所（山形県西村山郡朝日町、ダム式 2025年5月1日お知らせ済み）に続き3例目となります。

当社といたしましては、安全確保を最優先に同発電所の安定運転に努めるとともに、引き続き、再生可能な純国産エネルギーである水力の有効活用によるCO₂排出量削減に取り組んでまいります。

以 上

（別紙）郷内発電所の概要